



SHIGA UNIVERSITY

# 滋賀大学

送信先：各報道機関 全1枚

報道関係者 各位

## カネテツデリカフーズ（株）と食品廃棄ロス削減に向けた共同研究を開始

このたび、滋賀大学は、カネテツデリカフーズ株式会社（本社：神戸市、代表取締役社長：村上寛）と連携し、「練り製品の需要予測モデル」に関する共同研究を開始いたしました。

同社は、1926年（大正15年）の創業以来、魚肉練り製品の製造に取り組んでいます。このたび、同社DX化に向けた取り組みの一つとして、長きにわたり社内に蓄積された様々なデータを活用し、高精度の需要予測モデルを構築し、これまで生産管理者の経験と勘による生産計画と実際の販売数量の差異による機会損失や廃棄ロスの解消・改善を目指すこととなりました。

需要予測モデルの構築については、日本で初めてデータサイエンス学部を開設し、多様な業種の企業と連携しデータ分析の活用による成果を上げてきた滋賀大学との共同研究が最適と判断され、本連携となりました。

本研究成果は、同社のDX化・計画生産の最適化に活用するとともに、SDGs達成にも貢献する廃棄ロス削減という社会共通の環境課題解決にもつなげていきたいと考えます。

滋賀大学では、今後ともデータサイエンス分野のさらなる向上を目指し、社会の多様なニーズにこたえてまいります。



（カネテツデリカフーズ本社にて）